

2. 事業の概要と成課	
(1) 上位目標の達成度	(ア) 図書に触れる機会を増やすことによって、子どもたちが図書の面白さに興味・関心を持って、積極的に本を読むようになり、小学生の識字力や読解力が向上しているという教師の声が、両州の教育庁より寄せられている。 (イ) 両州の教育担当官より、子どもの頃に図書に触れる機会が少なかった教師の読解力も高められ、子どもたちによい影響を与えている、という教師からの声が報告されている。
(2) 事業内容	(ア) 日本全国の自治体より 8 台の中古移動図書館車を収集した。 (8 台の移動図書館車寄贈先自治体) 奈良市、嘉麻市、廿日市市、三朝町（フリーステート州向け） 奥多摩町、東温市、館林市、加賀市（クワズール・ナタール州向け） (イ) 安全運行を持続させる為に、輸出前の車両点検整備を行った。 (ウ) 2013 年 4 月、南ア・日本の関係者が参加する移動図書館車の出港式を、駐日南ア大使館で開催し本事業の意義を発信した。 (エ) 南アへ移動図書館車を商船三井の特別協力により海上運送。 (オ) 通関を経た後、フリーステート及びクワズール・ナタール州の教育庁に、4 台ずつ移動図書館車の引渡しを行った。 (カ) フリーステート州はこの寄贈で同州の 5 つの教育区全てで 2 台目の運行開始を記念して、2013 年 10 月 31 日、州都ブルームフォンテンのウインドミルホテルにて、同州教育庁と当団体の姉妹団体である SAPESI—南アが記念式典を行った。その模様は全国紙 Sun など計 4 紙で写真入り記事が掲載された。 (キ) 両州教育庁は、当団体と交わした運行確認書にもとづき、車両登録、保管、予算、人員、体制等、運行管理を行っている。
(3) 達成された成果	(ア) 今回は、以下の2州の教育庁で各4台の移動図書館車の巡回活動が始まっている。 フリーステート州では、学校数 173 校、生徒数 33,183 人、 クワズールナタール州は、学校数138校、生徒数70,761人 (イ) フリーステート州の 8 か所の図書館車巡回校の校長より、「移動図書館車の図書によって読解力が高められている」という報告が届いている。 (生徒について) 本をよく読むことを楽しむようになった。本を読むのが身に付き、言葉や作文の向上が目覚ましい。いろいろな本を読む機会が増え、いろいろなことに興味や関心を持つようになった。本を読みたいという意欲が出てきている。 (教師について) 移動図書館車の活動に大変積極的である。教師も

	本を読むことについて熱心になった。生徒が本を読むことが好きになるように指導した。教師も生徒とともに、沢山のいろいろな本を読む機会が増えた。 (校長から) 本プロジェクトは、生徒が本に親しみ、生徒の読解力が向上し、学ぶ力の基礎の向上に役立っている。今後も継続し、発展・充実することを要望する。また、図書館車が届いて他の学校にも拡大することを期待している。 (ウ) SAPESIー南アは、フリーステート州をモデル州として、3ヶ月に一度、図書館車の責任者会合にアドバイザーとして参加し、図書館車巡回システムや図書貸出しシステムの改善などの「優れた実践例」を評価分析し、その実践例を他の活動拠点に伝えて、情報の共有など学び合い、改善活動を推進してきた。
(4) 持続発展性	(ア) 図書が備わっている図書室がある学校は8%以下と極めて少なく、各州の教育庁の図書館担当、および、殆どの学校や教師が、図書館や図書の管理や運用についてのノウハウをもっていない状況にある。そして、図書館車は新しいコンセプトであり、図書館車、および、図書の運用や管理についての指導が必要となっている。こうした中、SAPESIー南アは、フリーステート州を全9州のモデル州として位置づけ、そこでの経験やノウハウを他の州に伝え、図書館車の巡回学校数の拡大、および、図書の貸出し数を拡大を継続的に行っている。 また、フリーステート州をモデル州として、英語の児童書を世界中9カ国のソニーの子会社が社員や地元コミュニティーから集め、各国の川崎汽船の子会社が無償海上輸送を行い、南アに送り、年間3万5千冊をフリーステート州教育庁に寄贈している。 (イ) 本事業についての、南ア教育省、各州教育庁、日本大使館、日系企業、現地企業からの理解と協力が増えており、今後とも、本事業を継続・発展していく基盤がある。 例えば、各州教育庁が車両修理を担当しているが、入手困難な修理部品や難しい修理については、在南ア日系車両メーカーの協力を得て解決している。 (ウ) 複数の南ア現地企業もこの活動を支援している。 例えば、南ア最大手の広告代理店 Visual Volcano 社は、図書館車活動の催事や PR、マスコミへの取材の働きかけなど、無償で協力している。